

2学期始業式 ～子どもたちに伝えたこと～

「梅雨明けて 乾いた土の 香り立つ」

8月28日付の長崎新聞「ジュニア俳壇」に秀逸として掲載された有川虎位さんの俳句です。その他にも、古賀大雅さん 谷川鈴さん 谷川一桂さん 谷川美穂さん 谷川梓さん 石田将斗志さんの作品が佳作として掲載されていました。

大変嬉しく思いました。きっとこの新聞を見た地域の人たちも喜んでおられると思います。君たちは気付いていないかもしれませんが、若者の頑張りや、大人を元気にします。このような君たちの活躍を、2学期もたくさん見せてください。

さて、岐宿町を含め五島市は人口減少、少子化、高齢化という大きな課題を抱えています。しかし、岐宿町の住民の中には、地域を活性化させようと、様々なことを企画し、活動をしている素敵な大人がいます。6月に有志の皆さんで、「あじさい祭り」に参加し、「岐中ソーラン」を披露しました。温かい拍手を多くの方からいただきましたね。8月11日には、岐宿にわか・岐宿夏まつり実行委員会が主催する「岐宿夏まつり」が久方ぶりに開催されました。生徒の皆さんの中にも、参加してくれた人がいたのではないのでしょうか。文化部の生徒は川原地区で活動されている「あいあいの会」が主催する絵画教室に参加する予定です。このような活動に参加することが、若者の姿がそこにあるということが、地域を元気にしていくのです。私も岐宿の町を元気にしたいと思っている一人です。2学期は合唱コンクールを合唱祭に変えて、地域の人をも巻き込んで開催します。岐宿町体育祭や文化祭にも、積極的に関わりたいです。生徒の皆さんにも、自分のできる範囲で積極的に関わって欲しいと思います。

地域の行事に積極的に参加したい理由がもう一つあります。それは、君たちを「理想の自分」に出会わせたいからです。1学期の学校評価の「理想の自分に向かって実践できていますか」という項目に「1」や「2」をつけた人がいます。「自分の理想が何なのかははっきりしない」「理想の自分がわからない」「考えないように避けている」ということが、その理由です。地域の行事に参加するということは、多くの人々と関わるということです。その関わりを通して、今まで気付かなかったことに気づき、視野が広がったり、物事の見方や考え方が変化したりしていきます。人間はこのような経験を積み重ねて、自分自身を形成していくのです。大人になっていくのです。

2学期も岐宿中学校の合言葉は同じです。「理想の自分に向かって一歩前！」です。学校での学習や行事、部活動はもちろん、作品の投稿・出品、地域行事への参加等、たくさんのことにチャレンジして、理想の自分にアプローチしてください。

最後に、学校評価の「先生たちは生徒に寄り添う指導をしている」という項目で「2」を付け、「何もわかっていないから」と書いてくれた人がいました。ありがとうございます。君たち一人一人のことをもっと理解して、あなたたちが悩んだり困ったりしたときに、頼られる教師集団になれるように努力します。2学期もどうぞよろしくお願ひします。お互いに頑張っていきましょう。



始業式では、各学年を代表して、谷川颯涼さん、出口樟祐さん、古賀大雅さんが、これまでの自分を振り返りながら、学習面や生活面、進路実現等の抱負を、緊張しながらも、堂々と発表することができました。先生方はその発表する姿を温かい表情で見守っていました。よい2学期になりそうな予感がします。保護者並びに地域の皆様、今学期も岐宿中学校をどうぞよろしくお願ひします。

